

## Housing Market News

2020 vol.10

9|18 ▶ 10|15

東京ガス株式会社  
営業第二事業部<http://biz.tokyo-gas.co.jp>今月の  
トピック解説

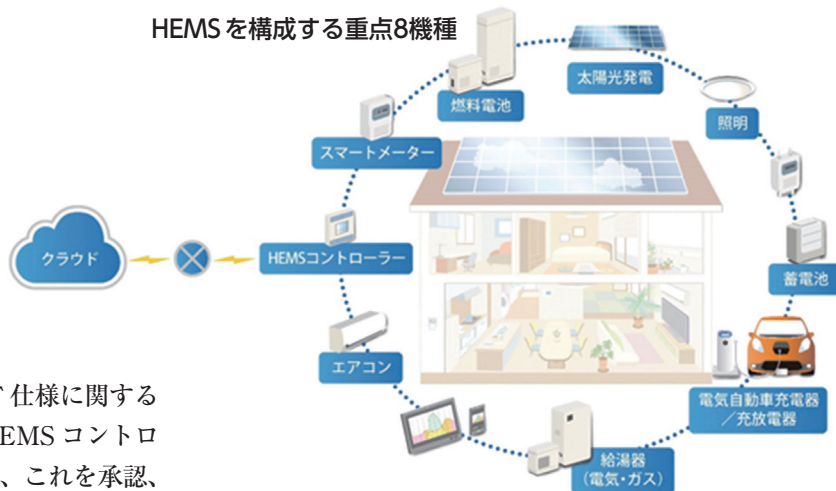
TOPIC

## エアコンとHEMSの相互接続仕様が国際規格化

スマートハウスを実現する通信プロトコル、エコーネットに対応したアプリケーション通信インターフェース(AIF)仕様として、日本から提案していた「家庭用エアコンとHEMSコントローラ間のAIF仕様」が国際規格化された。IT分野の標準化を行う国際標準化機構(ISO)と国際電気標準会議(IEC)の合同専門委員会(JTC 1)は、日本からの提案により2017年から、AIF仕様に関する最初の規格として、「家庭用エアコンとHEMSコントローラ間のAIF仕様」に関する審議を進め、これを承認、国際規格として発行した。

国内では1997年、家電機器、住宅設備機器メーカーなどが参加する(一社)エコーネットコンソーシアムが設立された。どのメーカーの機器でも共通に制御コマンドを理解できるように継続して機器の制御コマンドの定義の拡大を図り、現在では100種類以上の機器の詳細な制御コマンドを定義している。2011年には、家電機器や住宅設備機器で培ってきたホームネットワーク技術を発展させ、センサ類、白物家電、設備系機器などをIoT化し、エネルギーマネジメントやリモートメンテナンスなどのサービスなどを実現するための通信仕様「ECHONET Lite規格」を発表。さらに2012年2月、経済産業省が設置したスマートハウス標準化検討会において、スマートハウスを構成するHEMSの標準インターフェースとして「ECHONET Lite」が推奨された。2015年には国際標準規格として承認されている。加えて、(一社)エコーネットコンソーシアムでは、エネルギーに関連が深い家電や住宅設備機器を「重点8機器(スマートメーター、太陽光発電装置、蓄電池、燃料電池、エアコン、照明機器、給湯機、電気自動車用充放電機器)」として定め、HEMSでの活用と普及を推進する。重点8機器につ

HEMSを構成する重点8機種



出展:(一社)エコーネットコンソーシアム

いては、ECHONET Lite規格に加えて、異なるメーカー間の機器の相互接続性を向上させるために「機器ごとの動作」を規定したアプリケーション通信インターフェース(AIF)仕様を2016年に策定した。

今回発行されたAIF仕様に関する国際規格では、家庭用エアコンとHEMSコントローラを接続する際の相互接続性や信頼性を確保するために、通信プロトコルのみならず、通信上の機器の動作を含めて基準を定めている。これにより、同一ネットワーク内にある家庭用エアコンをHEMSコントローラで検出、発見し、制御することが可能となる。また、ユーザーが手許の赤外線リモコンで家庭用エアコンを操作しても、HEMSコントローラは家庭用エアコンの状態を正しく把握できる。

今回、日本発の国際規格の発行により、HEMSの国内外での導入促進、エアコンを始めとした関連する日本製機器の優位性向上などが期待されている。なお、家庭用エアコン以外の機器についてもそれぞれAIF仕様に関する業界規格が策定されており、経済産業省は、(一社)エコーネットコンソーシアムなどと共同で、国際規格化の提案を進めていく考えだ。

## NEWS

今月の主なニュース

9|18

10|15

- ▶ [リンナイ](#) ガス衣類乾燥機のラインアップをさらに拡充
- ▶ [近鉄不動産・パナソニック ホームズ・JR西日本不動産開発](#) 抗ウイルス・抗菌機能を新築分譲マンション共用部へ導入
- ▶ [ノーリツ](#) 新ECサイト「NORITZ DAYS」を開設 交換部品販売メニューや生活サービス情報を拡充
- ▶ [オムロン](#) 水害対策を施した蓄電システムを提案 壁掛け設置が可能
- ▶ [国土交通省](#) 新型コロナ流行前、緊急事態宣言中、宣言解除後の3時点で個人の24時間の使い方のアンケート調査を実施
- ▶ [関西ペイント](#) 漆喰塗料の新型コロナウイルスに対する不活化を実証 接触5分で99.9%以上を不活化